

令和5年度第1回酒田市女性活躍推進懇話会提案等概要

【企業・働き方に関して】

- ・女性管理職を目指す人を増やすために意識を変える必要があるのではないか。企業向けに、先進事例（えるぼし認定企業や女性管理職のロールモデル）を発信して周知してはどうか。
- ・働きたくても、年齢制限等があり、仕事のマッチングが上手くいっていない現状がある。隙間時間で働けるマッチングアプリを活用し、副業を認める社会づくりも必要ではないか。

【子育てに関して】

- ・産後うつ、虐待、孤独な育児、1人の時間が取れない等の現状がある。赤ちゃんのケア方法のセミナー、医療情報・子育てセンター情報が得られる産後ケアの施設・機能や、利用するための助成があっても良いのではないか。

【意識啓発・セミナーに関して】

- ・日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会の会員からメリットを感じてもらうように、会員向けセミナーをより充実させてはどうか。対象は経営者向けだけでなく、働く女性向けもあってもいいのではないか。内容としては、効率化、DX、社内IT女子育成等。
- ・えるぼし認定を受けた企業で働く女性側の意見を聞くのはいかがか。
- ・一般向けの意識啓発も必要。動画を撮り、周知するのも良いのではないか。
- ・山形県で作成しているアンコンシャスバイアスのチラシ（漫画で分かりやすく書いている）で周知しても良いのではないか。
- ・研修用ビデオを会社に貸し出しできないか。
- ・高校生向けの意識啓発のためには、地元でいろいろな働き方をしているさまざまな大人の話を聞くのもいいのではないか。ナリワイの方や起業者の話を聞く等。

【家事に関して】

- ・ファミリー・サポート・センター（ファミサポ）に加え、家事サポもできないか。
- ・家事の見える化、達成した家事をポイントにして、月に一度アプリ上でポイントがどれくらい知れるような仕組みがあっても良いのではないか。